

7/21 第16回南宇和郡小学校水泳競技大会

城辺小学校プールで「第16回南宇和郡小学校水泳競技大会」が開催されました。会場では新型コロナウイルス感染拡大防止対策として基本的な感染対策を徹底し、選手たちは声援の代わりに拍手でエールを送りました。

8/3 増田の「はなとり踊り」

愛媛県指定無形民俗文化財の「増田のはなとり踊り」が増田地区の安養寺の境内で執り行われました。

450年以上の歴史を持つ増田のはなとり踊りは、他の行事に比べても禁忌とされる事項が多いと言われています。四隅にサカキを立て、しめ縄で囲んだ踊り場は「結界」であり身体を清める必要があることから、踊りの関係者は不浄のものを取らないよう5日前から肉・魚を食べることができません。

また、旧暦の7月11日に行われるこの踊りを一度だけ新暦の8月11日に行ったところ、思わぬ怪我人が出たことから今でも旧暦で行われています。

はなとり踊り保存会の近田正二会長は、「昨年引き続きコロナに悩まされたが、地域の方々の協力で無事に開催できた。伝統あるこの踊りを今後も地域一丸となって守っていきたい」と話しました。

踊り子8人、鉦叩き2人、太鼓叩き1人が約2時間にわたり踊り、最後は真剣で結界の縄を斬って終わりを迎え、踊りに使用された竹・しめ縄はお守りとして踊りの関係者らが持ち帰りました。



愛媛県指定無形民俗文化財「久良の能山踊り」^{のうざん}

久良地区真浦の大銀杏が海風に揺れる古木庵^{こぼくあん}で、愛媛県指定無形民俗文化財の「久良の能山踊り」が行われました。例年7月31日から8月13日の間は夜に古木庵で踊り、最終日の14日は朝から久良漁協で浜踊りをした後、古木庵に戻って締めくくります。

400年以上続くこの踊りは、戦国時代末期に南宇和地方を領した勤修寺左馬頭基賢（別名能山公）が、土佐の長宗我部氏との戦いに敗れて久良の地に逃れ、当地で没したため、その能山公の霊を慰めるために始まったと伝えられています。古木庵のシンボルでもある大銀杏は、能山公が杖にしていた枝を地面に突き刺したところ、それが根を張り今の姿になったと言われています。

能山踊り保存会により今年も無事執り行われたことに対して、世話人を務める鎌田輝文^{てるふみ}さんは、「能山公がこの世を去る時、集落が3軒になるまで踊り続けてほしいと告げたという伝説がある。人口減少が課題ではあるが、この踊りを継承していけるよう努力していきたい」と話しました。

30年ぶりに能山踊りを見ることができたという久良出身の男性も、久しぶりに見る地区の踊りで過去を懐かしんでいる様子でした。



～この一球で、夢をつかめ！～
愛媛マンダリンパイレーツ公式戦



愛媛
CATV
動画



南レク城辺球場で四国アイランドリーグplusの愛媛マンダリンパイレーツと高知ファイティングドッグスの公式戦が行われ、約200人が球場を訪れました。

2点を先制されていた愛媛マンダリンパイレーツですが、3回の攻撃で同点に追いつき、さらに7回には漆原幻汰^{げんた}選手から2ランホームランが飛び出し4対2で勝利を飾りました。また、ホームランでチームを勝利に導いた漆原選手がこの日のMVPに選ばれました。

球場の外では露店やキッチンカーなどが出店したほか、愛媛マンダリンパイレーツの選手による野球体験コーナーが用意され、多くの人を楽しんでいる様子でした。

また、試合終了後には直前まで選手が試合をしていたグラウンドが開放され、子どもたちはプロと同じ土を踏みキャッチボールなどをしました。



▶愛媛マンダリンパイレーツ
マスコットキャラクター
「マッピー」となーしくん

